



2022年静岡県評女性部・初春のつどい & 
東海北陸ブロック女性交流集会 in 静岡市

夫婦別姓、生理の貧困、セクハラ、DV、性教育バッシング、女性への賃金差別…以前からそのおかしさがつぶやかれてきましたが、新型コロナ感染症流行による経済的な危機に特に女性の生活が直撃を受け、おかしさがはっきり意識できるようになってきました。#MeToo運動、フラワーデモなどからもエンバワメントされ、今まで泣き寝入りするしかなかった女性たちが大きな声を上げ始めました。そして2021年秋、衆議院議員選挙で初めてジェンダー平等政策が前面で語られました。全労連女性部は長くジェンダー平等を掲げてきましたが、組合員も含めて国民の意識がやっとジェンダー平等をとらえ始めてきたと言えると思います。今や「ジェンダー問題」は一番ホットな学習テーマです。ジェンダー差別の元凶を知り、解決の糸口を見つけていきましょう。

角田由紀子弁護士・講演会

ジェンダーギャップ120位!

「セクハラ大国日本」なのは、なぜ!?

2022年1月29日(土) 静岡県教育会館すんぷらーざ4階



撮影・永峰拓也

- 13:00 全労連東海北陸ブロック女性交流集会のための興津清見寺フィールドワーク動画上映(朝鮮通信使と琉球王子の扁額について) 東海北陸ブロックの紹介も
- 13:30 開会、あいさつ
- 13:35 角田講演開始
- 15:00 質疑応答、補足など
- 15:30 ごろ閉会 (閉会后他県の女性部と交流します)

角田由紀子弁護士は1989年に日本で初めてセクハラ裁判を手がけ、セクハラの本質にあるのは男性や会社が女性を性的な対象として見下していたことを明らかにしました。この裁判では加害者個人だけでなく会社の責任も認定され1992年4月にほぼ完全勝訴。加害男性と会社に165万円の損害賠償を命じました(BuzzFeed.News2018年5月16日より)。しかし角田さんは語ります。セクハラ放置は今も全然変わっていないと。



※ZOOMで参加希望の方は静岡県評 kenpyo@mail.wbs.ne.jp までメールでお申し込み下さい。